

全国のプレカット工場における 令和5年度業績に関する実態調査

令和7年7月
林野庁木材産業課

1. 趣旨	2
2. 調査の概要	3
3. 調査結果	
(1) 回答者の概況	4
(2) 結果(加工規模別分析)	5
(3) 地域別分析	10
4. まとめ	15



プレカットとは

軸組工法による木造建築物の柱や梁等の接合部分(継手や仕口等)を加工機械により一定の形状に加工する技術。



プレカット工場の役割、重要性

プレカット工場は、工務店等から持ち込まれた木材の加工のみを請け負う業態(賃加工)のみならず、顧客からの注文を受けて、自ら木材を調達し、加工した製品を資材費込みで販売する業態(資材費込み)もあるため、国産材やJAS材活用に向けて、重要な役割を果たし得る。

今後、住宅着工戸数が減少する中、非住宅分野への進出も重要。



プレカット業界の基礎情報

業界団体の全国木造住宅機械プレカット協会は、木材取扱数量や事業形態等の「プレカット工場基礎調査」を実施しているが、会員数は53社にとどまり、業界の全体像は把握困難。



今回、初めて、都道府県を通じて、全国のプレカット工場を対象とする実態調査を実施

2. 調査概要

○ 調査対象数

都道府県が把握している370のプレカット工場

○ 調査項目

令和5年度の事業実績を調査

- ① 国産材利用状況(木材入荷量のうち、国産材製材、国産材集成材、外国産材製材、外国産材集成材の内訳)
- ② JAS材利用状況(木材入荷量のうち、国産材JAS材、外国産材JAS材、国産材非JAS材、外国産材非JAS材の内訳)
- ③ 出荷先別加工量(加工量のうち、大手ハウスメーカー/大手ビルダー(1,000棟以上/年)、地域ビルダー等(100~1,000棟/年)、中規模工務店(20~100棟/年)、小規模工務店(20棟以上/年)向けの内訳)
- ④ 請負形態別の加工量(資材費込み、賃加工の内訳)
- ⑤ 非住宅建築物の受注の有無

○ 調査期間

令和6年7月~8月

○ 分析方法

プレカット工場を以下のように分類して分析を実施

【規模別】 大規模工場(年間総加工量5万坪以上)、

中規模工場(年間総加工量1万坪以上5万坪未満)、

小規模工場(年間総加工量1万坪未満)

【地域別】 北海道、東北(青森県、秋田県、岩手県、宮城県、山形県、福島県)、

関東(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県)、

中部(新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、)、

近畿(三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)、

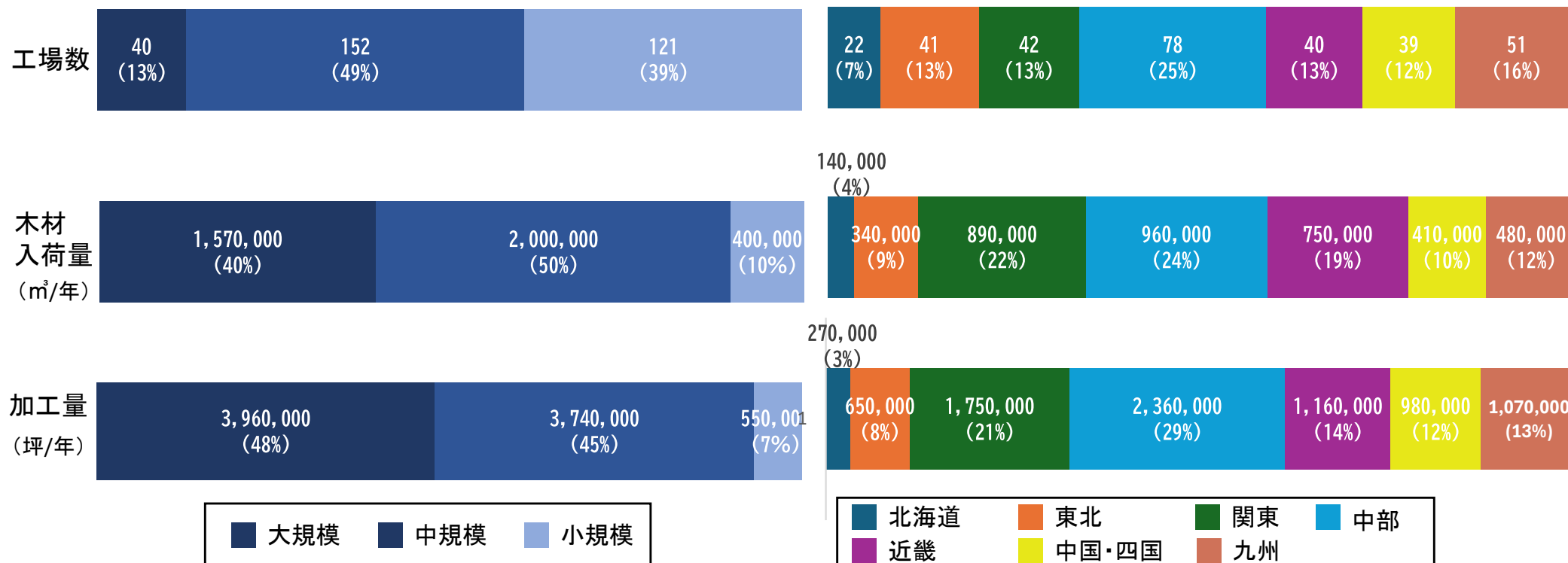
中国・四国(鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県)、

九州(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)

3. 結果(1)回答者の概況

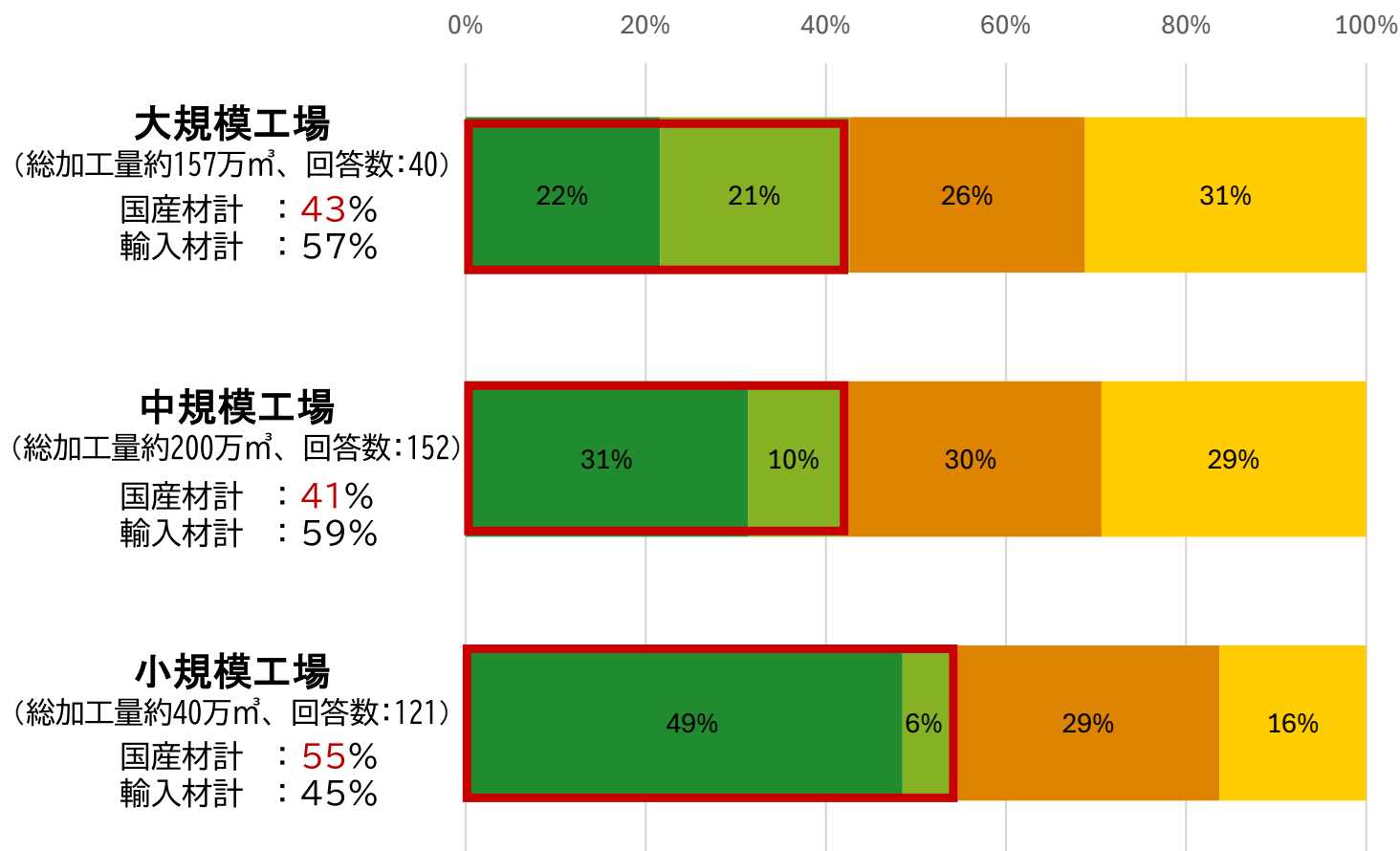
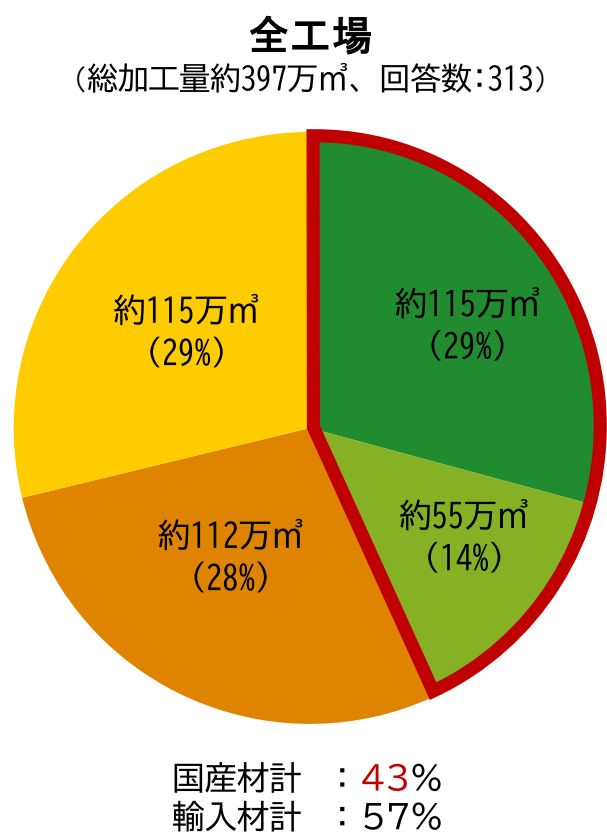
- ① 工場数: 313 (回答率85%) (※「R5木材流通構造調査」では668工場)
 - ・規模別にみると、大規模: 13%、中規模: 49%、小規模: 39%。
 - ・地域別にみると、中部(25%)が最も多く、九州(16%)、東北(13%)、関東(13%)、近畿(13%)が次ぐ。
- ② 年間木材入荷量計: 397万m³ (※同調査では560万m³) (1工場当たり1.27万m³)
 - ・規模別にみると、大規模: 40%、中規模: 50%、小規模: 10%。
 - ・地域別にみると、中部(24%)が最も多く、関東(22%)、近畿(19%)が次ぐ。
- ③ 年間加工量計: 825万坪 (※同調査では1,172万坪) (1工場当たり2.64万坪)
 - ・規模別にみると、大規模: 48%、中規模: 45%、小規模: 7%。
 - ・地域別にみると、中部(29%)が最も多く、関東(21%)、近畿(14%)が次ぐ。

○ 加工規模別の工場数、年間木材入荷量、年間加工量 ○ 地域別の工場数、年間木材入荷量、年間加工量



3. 結果(2)①国産材利用状況【加工規模別】

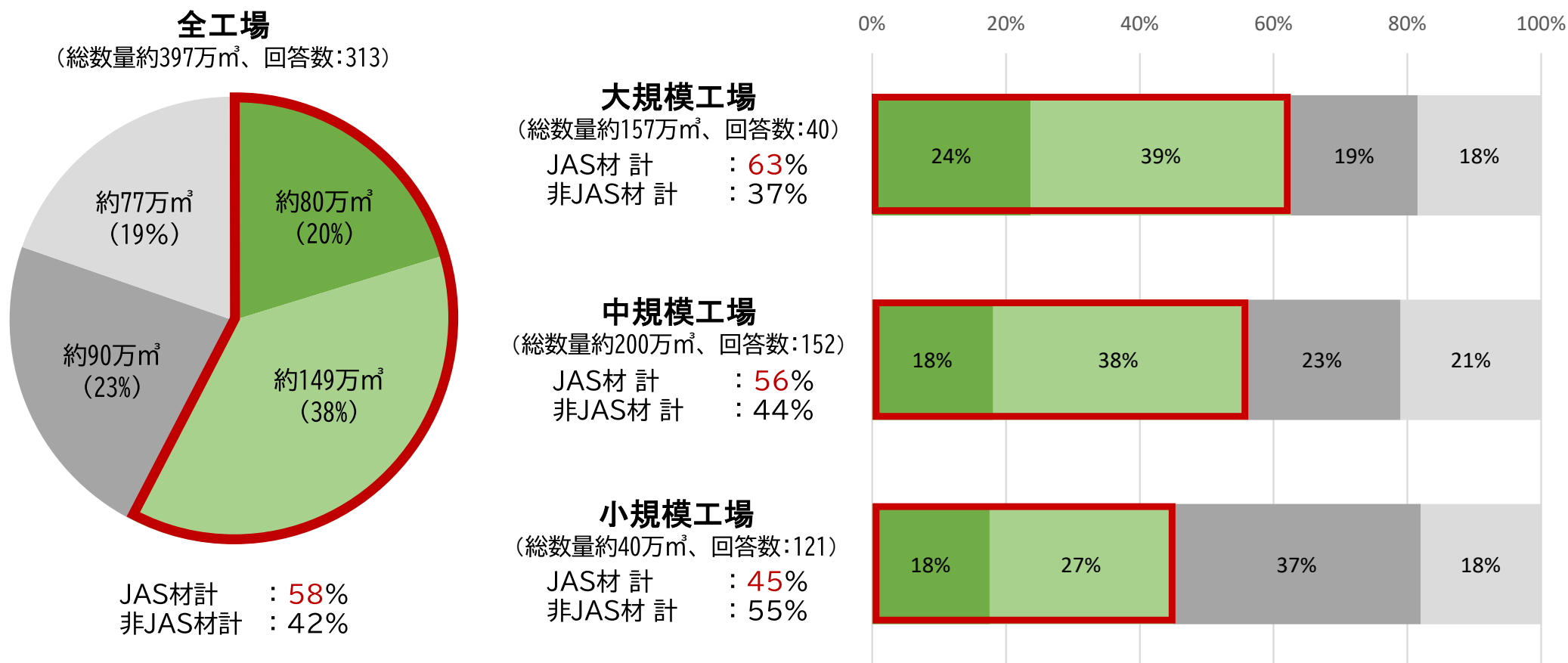
- 全工場における国産材利用率(国産材製材・国産材集成材)は43%。
- 規模別にみると、国産材利用率は、大規模工場で43%、中規模工場で41%、小規模工場で55%。国産材利用率は、**小規模工場が最も高い**。
- 大規模工場になるほど集成材(国産材・外国産材)の割合が高く、小規模工場になるほど製材(国産材・外国産材)の割合が高まる傾向あり。



■ 国産材製材 ■ 国産材集成材 ■ 外国産材製材 ■ 外国産材集成材

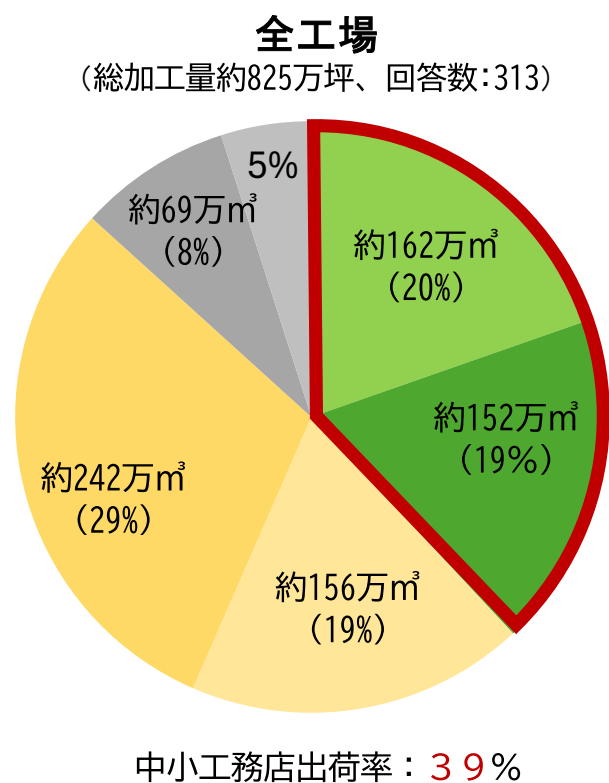
3. 結果(2)②JAS材利用状況(「製材・集成材」込み)【加工規模別】

- 全工場におけるJAS材利用率(JAS材(国産材)・JAS材(外国産材))は58%。
- 規模別にみると、JAS材利用率は、大規模工場で63%、中規模工場で56%、小規模工場で45%。**大規模工場になるほどJAS材利用率が高まる傾向あり。**
- 逆に、非JAS材(国産材)の利用率は、小規模工場になるほど高まる傾向あり。



3. 結果(2)③出荷先別加工量【加工規模別】

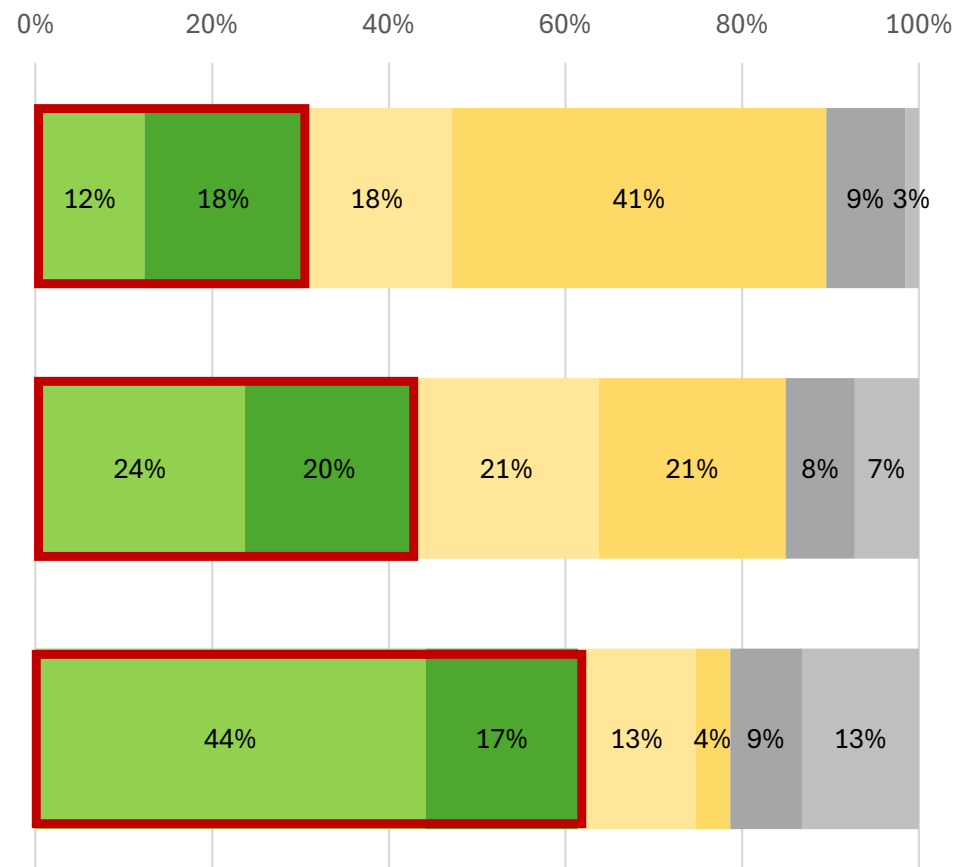
- 全工場における出荷先割合は、中小工務店（小規模工務店・中規模工務店）が39%に対して、大手ハウスメーカー/大手ビルダー及び地域ビルダー等が48%。
- 規模別にみると、大規模工場になるほど大手ハウスメーカー/大手ビルダーへの出荷率が高く、小規模工場になるほど中小工務店への出荷が多い傾向あり。
- 特に小規模工場は、年間着工数が20棟以下の工務店への出荷割合が44%で、地域の工務店向けの仕事が大半。



大規模工場
(総加工量約396万坪、回答数:40)
中小工務店出荷率：30%

中規模工場
(総加工量約374万坪、回答数:152)
中小工務店出荷率44%

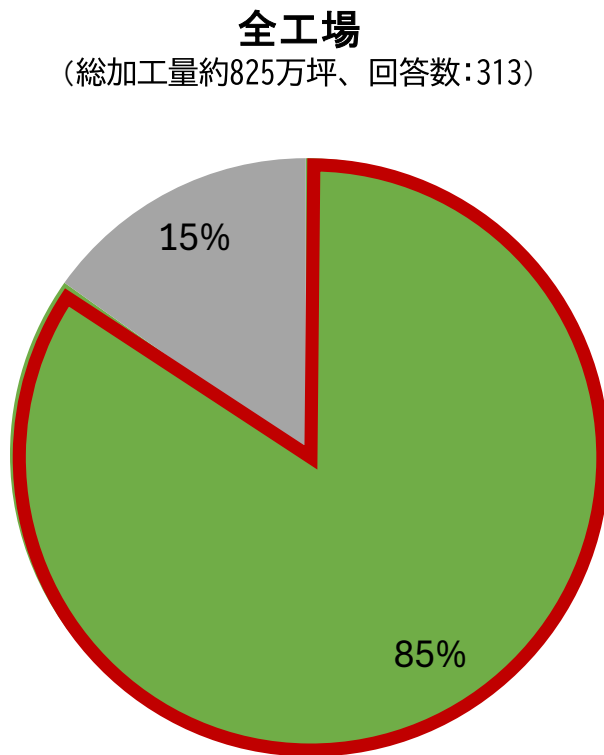
小規模工場
(総加工量約55万坪、回答数:121)
中小工務店出荷率：61%



■ 小規模工務店 (20棟以下/年)
 ■ 地域ビルダー等 (100~1,000棟以上/年)
 ■ その他(非住宅等)
■ 中規模工務店 (20~100棟以下/年)
 ■ 大手ハウスメーカー/大手ビルダー (1,000棟以上/年)
 ■ 不明

3. 結果(2)④請負形態別加工量【加工規模別】

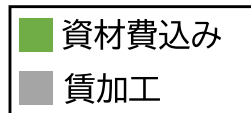
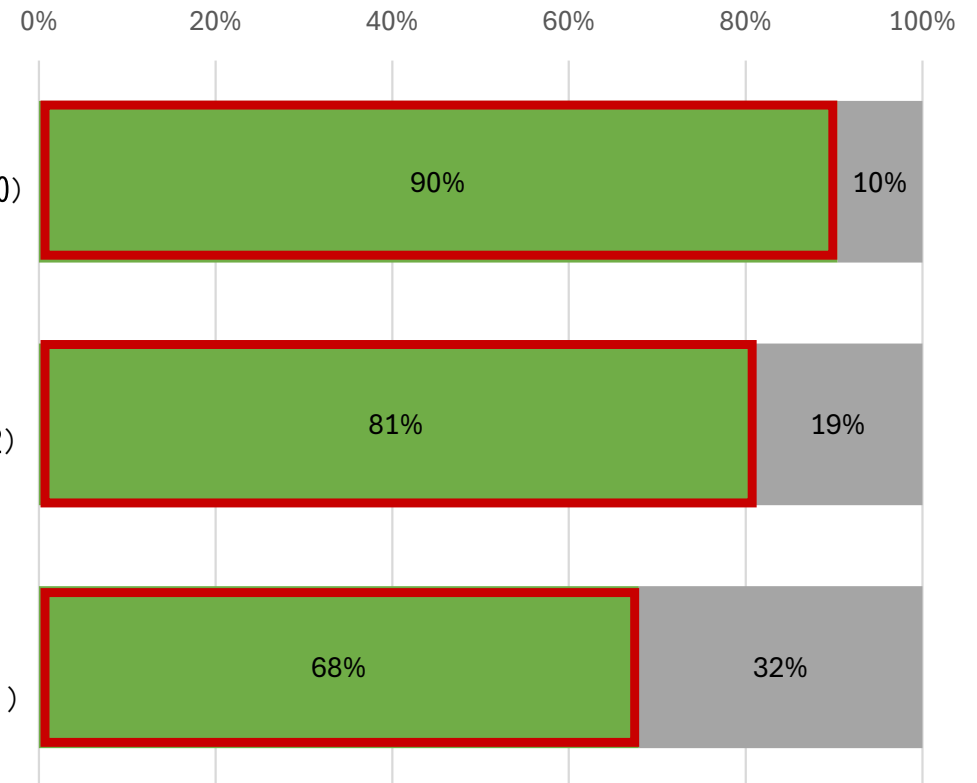
- ・全工場の加工量のうち、材料調達からの請負(資材費込み)が85%、加工のみの請負(賃加工)が15%。
- ・規模別にみると、**大規模工場ほど「資材費込み」の割合が高く、小規模工場になるほど「賃加工」の割合が高くなる傾向**あり。



大規模工場
(総加工量約396万坪、回答数:40)

中規模工場
(総加工量約374万坪、回答数:152)

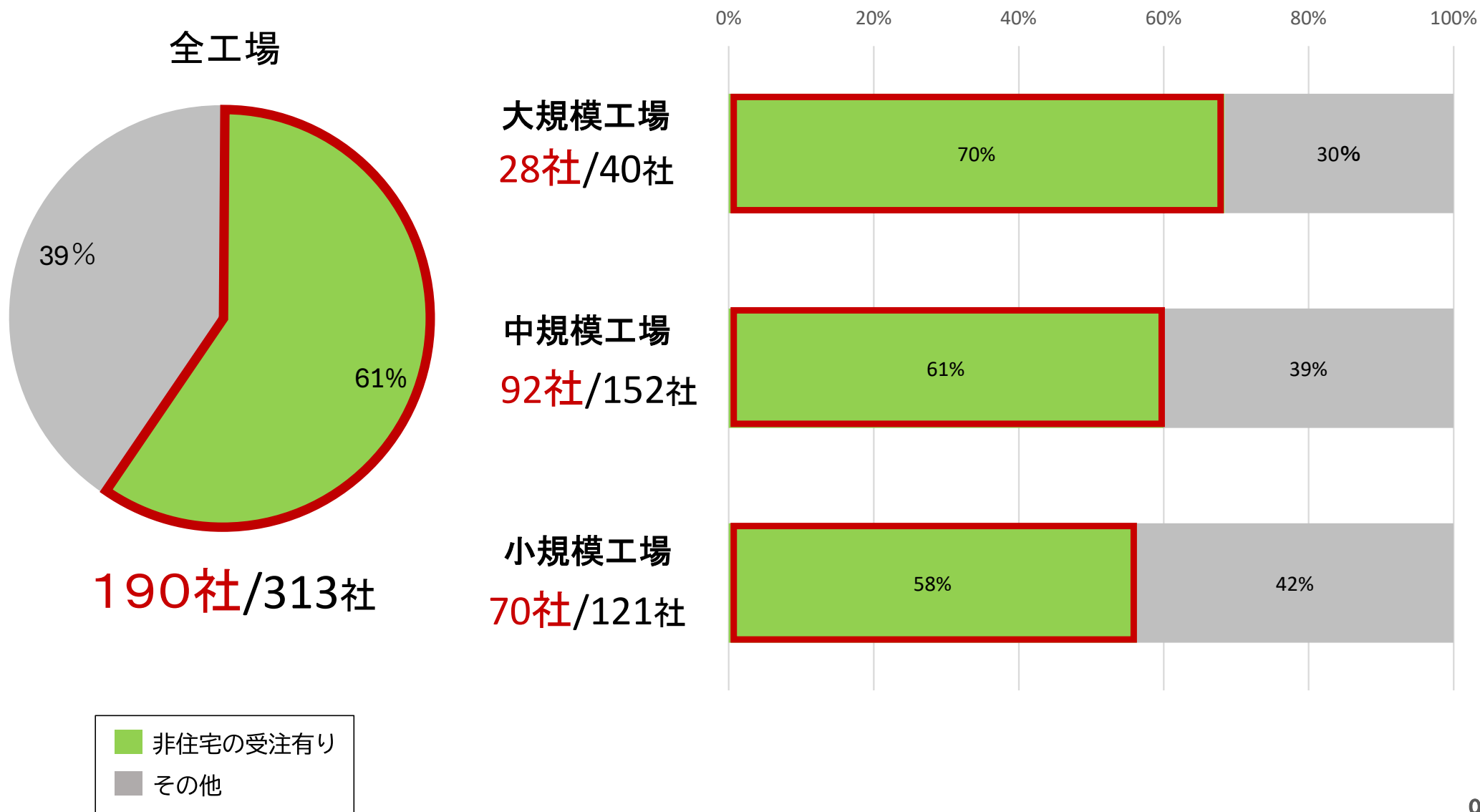
小規模工場
(総加工量約55万坪、回答数:121)



3. 結果(2)⑤非住宅建築物の受注の有無【加工規模別】

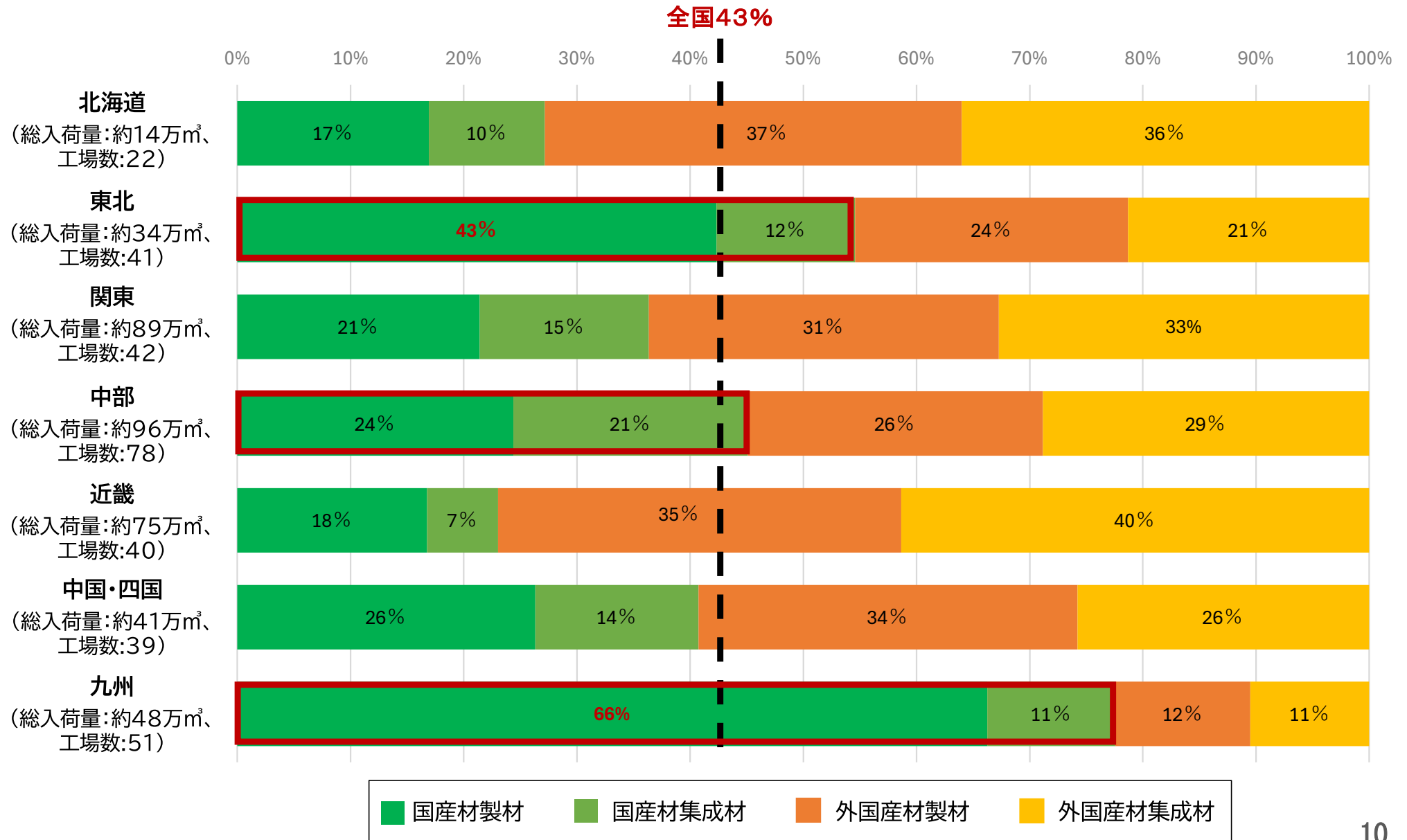
・全工場のうち、**61%**が**非住宅建築物の受注実績**あり。

・規模別にみると、非住宅建築物の受注実績のある工場の割合は、大規模工場で**70%**、中規模工場で**61%**、小規模工場で**58%**。小規模工場でも、6割程度で非住宅建築物の受注実績あり。



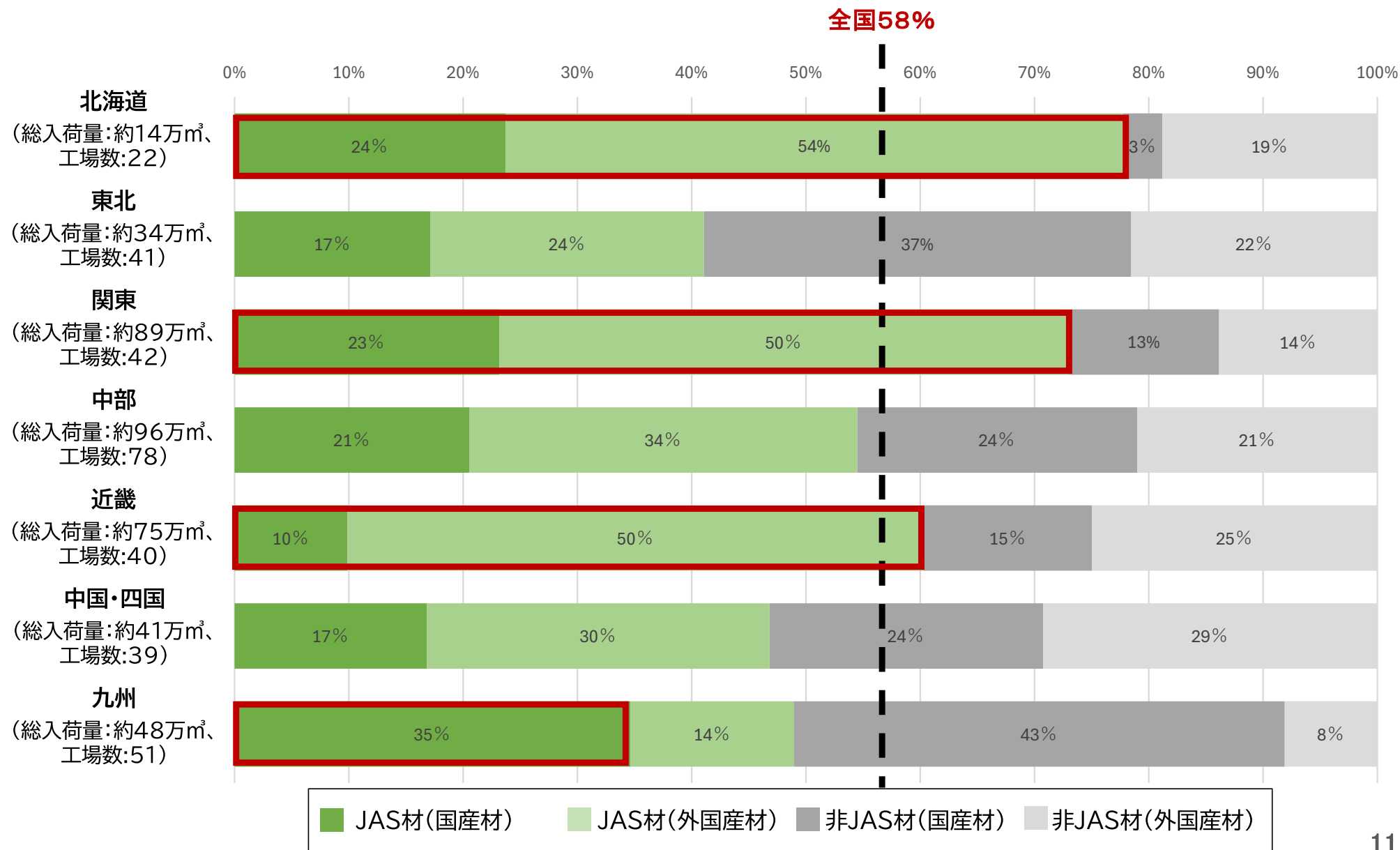
3. 結果(3)①国産材利用状況【地域別】

- ・国産材利用率が全国平均の43%を上回った地域は、九州(77%)、東北(55%)、中部(45%)。
- ・国産材製材の割合は、九州が66%と最も高く、次いで東北が43%。



3. 結果(3)②JAS材利用状況(「製材・集成材」込み)【地域別】

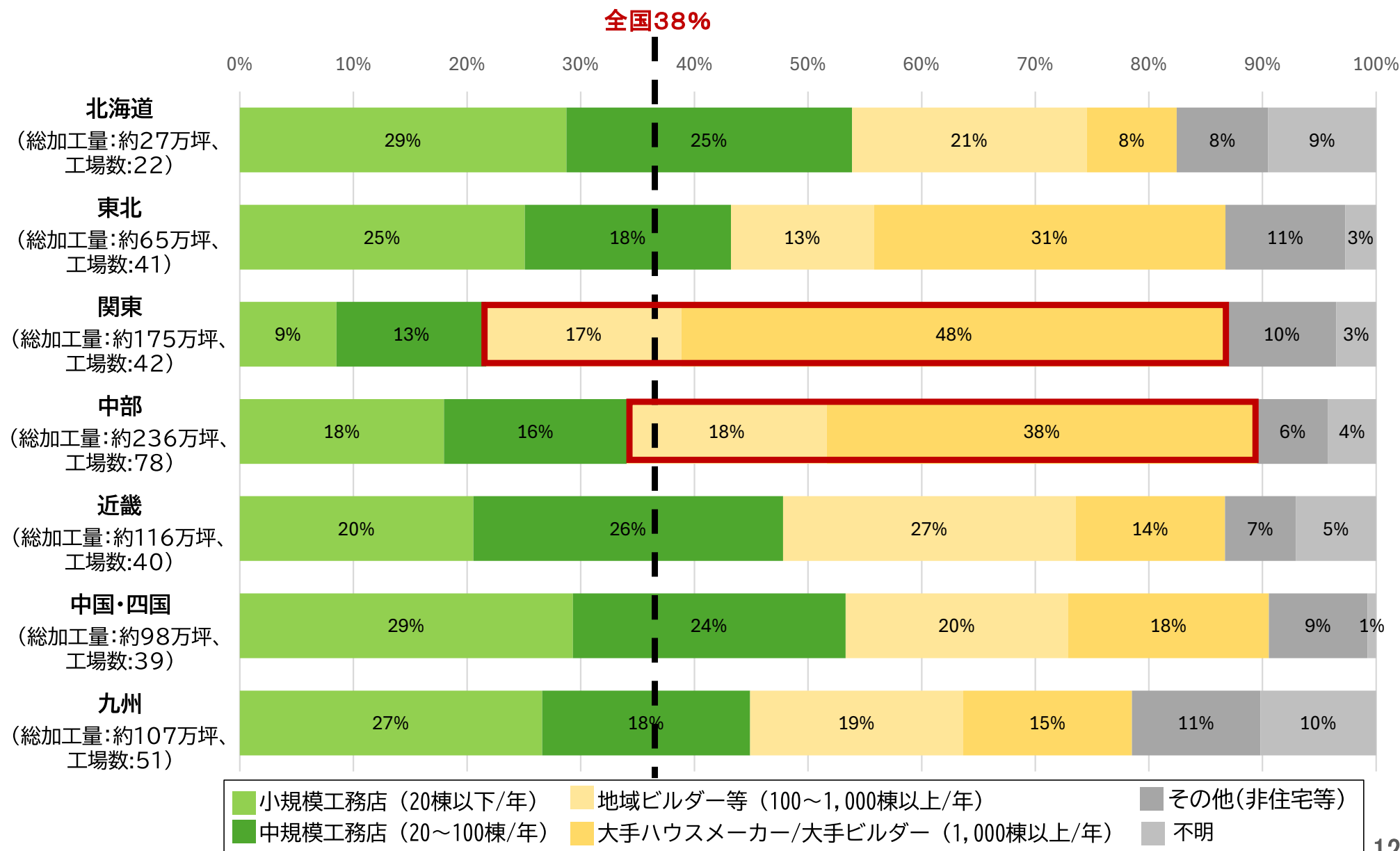
- ・JAS材利用率が全国平均の58%を上回った地域は、北海道(78%)、関東(73%)、近畿(60%)。
- ・国産材JAS材の割合が最も高い地域は九州(35%)、外国産JAS材の割合が最も高い地域は北海道(54%)。



3. 結果(2)③出荷先別加工量【地域別】

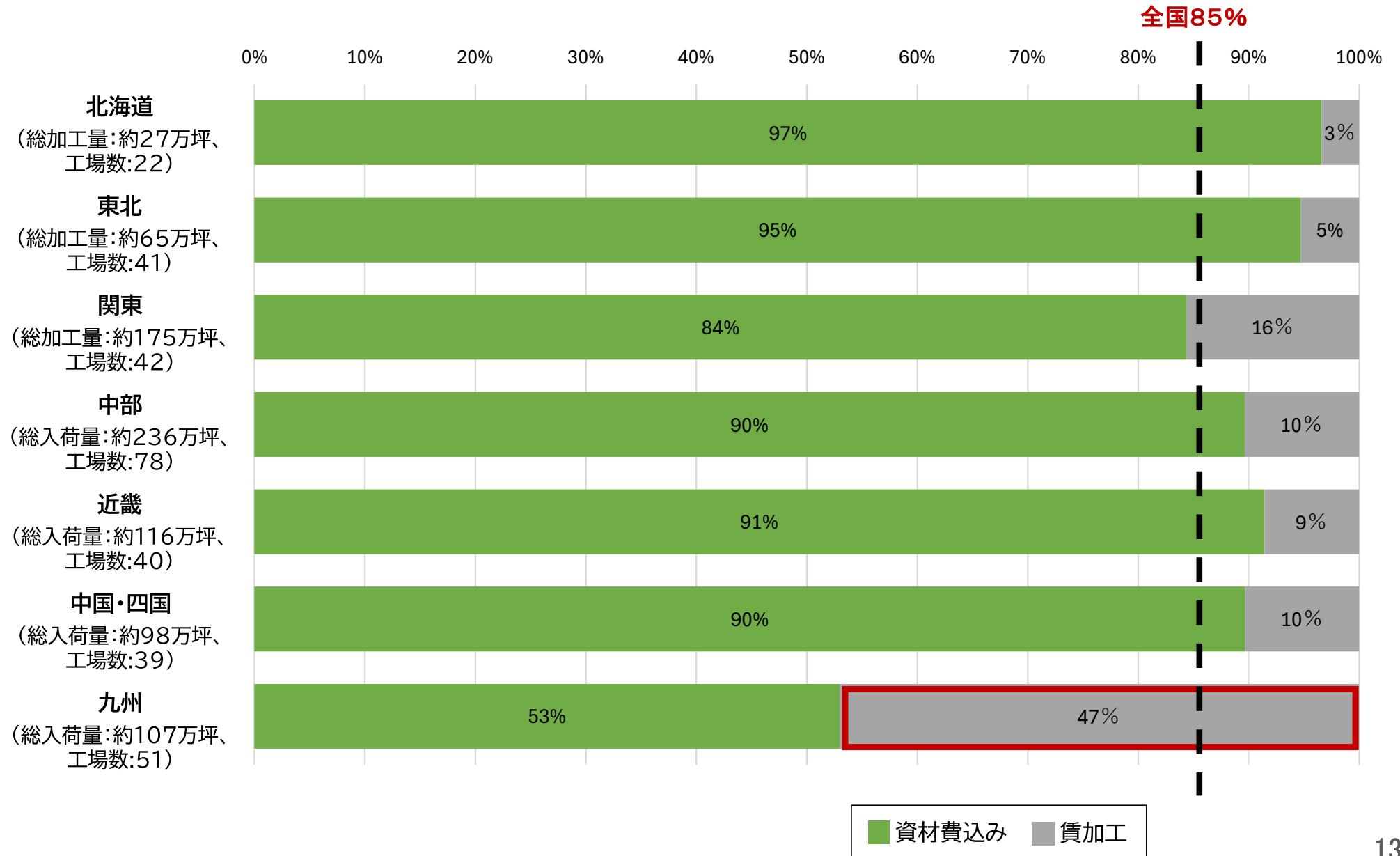
・中小工務店への出荷率が全国平均の38%を上回った地域は、北海道(54%)、中国・四国(53%)、近畿(46%)、九州(45%)、東北(43%)。

・**関東、中部は、大手ハウスメーカー/大手ビルダー及び地域ビルダー等への出荷が多い(各65%、56%)。**



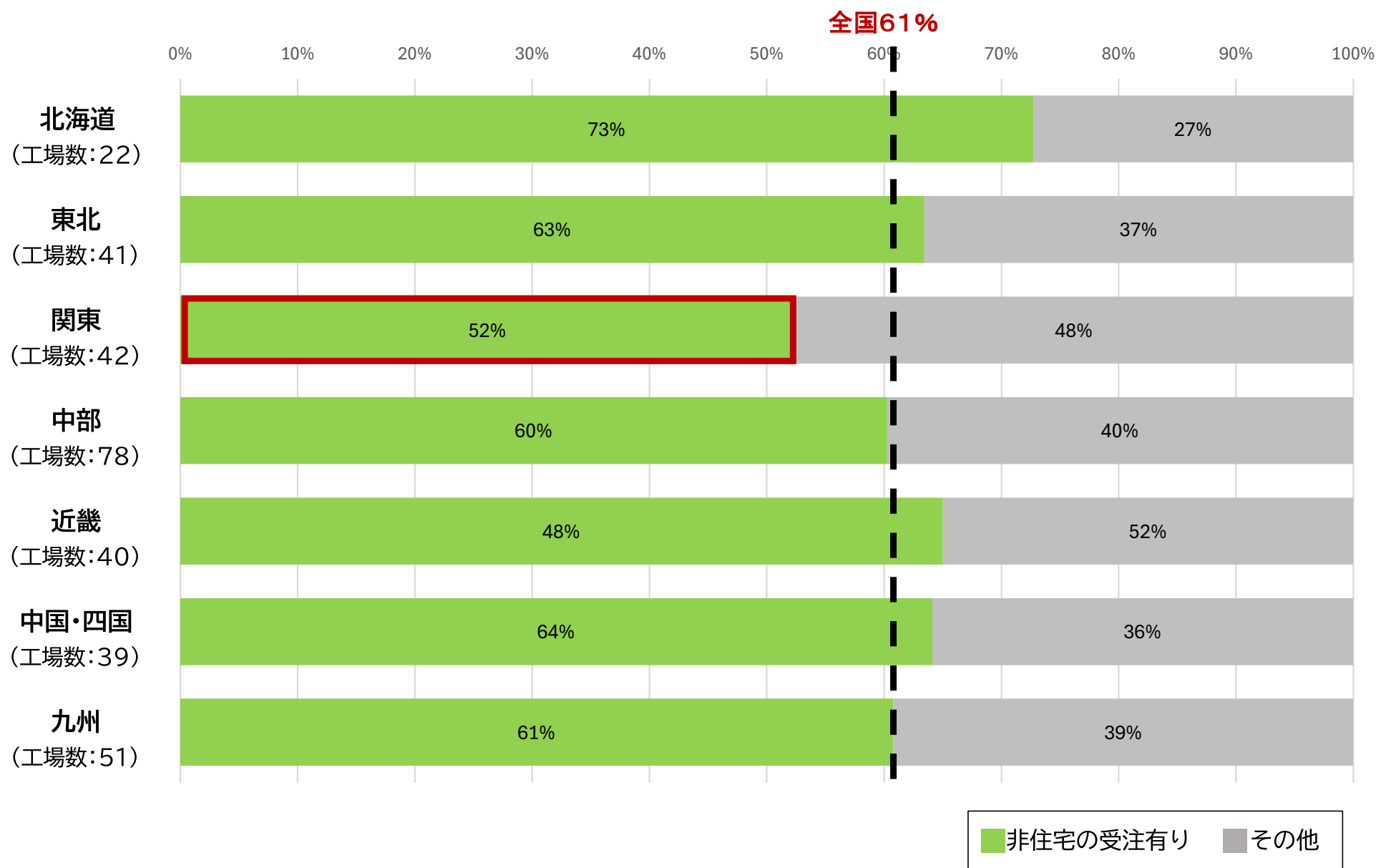
3. 結果(3)④請負形態別加工量【地域別】

- ・「資材費込み」の加工量の割合は、九州以外、全国平均の85%を上回り。
- ・九州は、賃加工の割合が特に高い(47%)。



3. 結果(3)⑤非住宅建築物の受注の有無【地域別】

・非住宅に取り組む工場の割合は全国平均の61%に対し、関東(52%)でやや低い。



4. まとめ



入荷状況

- ・プレカット工場における国産材利用率は43%、JAS材利用率は58%。国産材利用率は小規模工場ほど、JAS材利用率は大規模工場ほど高い傾向あり。
- ・地域別では、九州で特に国産材利用率が高い傾向あり。



出荷状況

- ・出荷先は、中小工務店向けが39%。大規模工場ほど大手ハウスメーカー、小規模工場ほど中小工務店が多い傾向あり。
- ・地域別では、関東と中部で大手ハウスメーカーへの出荷率が高い傾向あり。



請負形態

- ・請負形態は、資材費込みが85%、賃加工が15%。小規模工場ほど、賃加工が多い傾向あり。
- ・地域別では、九州で特に賃加工率が高い傾向あり。



非住宅

非住宅向けの加工に取り組む工場は、全般に6割程度。

調査へのご協力ありがとうございました！